

目次

第1章 なぜBS/CSが映らないのか

- 1-1 よくある「全チャンネルが映らない」ケース
- 1-2 「特定のチャンネルだけ映らない」ケース
- 1-3 その裏に潜む古い設備の存在

第2章 CSブロックコンバーターとは何か

- 2-1 CSブロックコンバーター登場の背景
- 2-2 旧CS放送と周波数帯の関係
- 2-3 なぜ当時は必要だったのか

第3章 時代の変化と110度CSの普及

- 3-1 110度CSアンテナとBSアンテナの統合
- 3-2 ケーブル一本化の仕組み
- 3-3 BS拡張チャンネルと110度CSのメリット

第4章 映らない原因＝CSブロックコンバーター

- 4-1 なぜCSブロックコンバーターが障害になるのか
- 4-2 BS拡張チャンネルが阻止されるメカニズム

4-3 110度CSが受信できなくなる理由

4-4 「アンテナは問題ないのに映らない」 典型事例

第5章 撤去提案と改修のすすめ

5-1 撤去すれば何が改善されるのか

5-2 撤去の手順と注意点

5-3 工場・マンション・一戸建てそれぞれの対応例

5-4 撤去後に行う確認と測定

第6章 現場での実例紹介

6-1 工場放送設備でのBS/CS受信復旧

6-2 マンション共聴システムでの改善事例

6-3 家庭用アンテナ交換の成功例

第7章 まとめとチェックリスト

7-1 「CSブロックコンバーター撤去」チェックポイント

7-2 読者自身ができる確認方法

7-3 業者に依頼する際の注意点

第1章 BS/CSの全てが映らない

使用例

分岐器・分配器・テレビ端子・75Ωケーブル・コネクタは、すべて1895MHzまでの周波数帯域で性能が保証されているものを使用してください。

- CSアンテナにCSコンバーターを使用
- AC100V方式

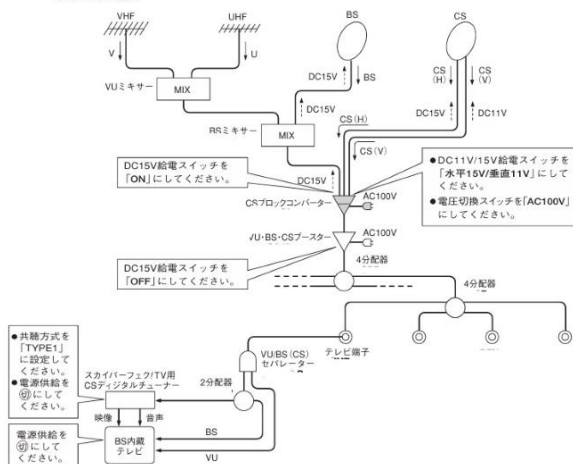


図1 受信システムの概略図

それでは仮に上の図のような受信システム

でBS/CSの電波を測ってみましょう。

ここではマスプロ電工のテレビチェッカー

LCV4Aで測ってみましょう。

表 1 BSのチャンネル配列が2025年7月現在

放送衛星チャンネル配列 (BS)

● BS放送 (右旋)

2025年7月現在

チャンネル番号	BS-IF帯 中心周波数 (MHz)	チャンネル	チャンネル名	画質	有料・ 無料
BS-1	1049.48	ch.151	BS朝日	HD (2K)	無料
		ch.161	BS-TBS		
		ch.171	BSテレ東		
BS-3	1087.84	ch.236	BSアニマックス	HD (2K)	有料
		ch.191	WOWOWプライム		
		ch.251	BS釣りビジョン		
BS-5	1126.2	ch.192	WOWOWライブ	HD (2K)	有料
		ch.193	WOWOWシネマ		
BS-7	1164.56	ch.141	BS日テレ4K	4K	無料
		ch.151	BS朝日4K		
		ch.171	BSテレ東4K		
BS-9	1202.92	ch.211	BS11イレブン	HD (2K)	無料
		ch.222	BS12トゥエルビ		
BS-11	1241.28	ch.211	ショップチャンネル4K	4K	無料
		ch.221	4K QVC		有料
		ch.231	OCO TV ※1		
BS-13	1279.64	ch.141	BS日テレ	HD (2K)	無料
		ch.181	BSフジ		
		ch.231	放送大学		
		ch.232			
BS-15	1318	ch.101	NHK BS	HD (2K)	※2
		ch.200	BS10		無料
		ch.201	BS10 スターチャンネル		有料
BS-17	1356.36	ch.101	NHK BSプレミアム 4K	4K	※2
		ch.161	BS-TBS 4K		無料
		ch.181	BSフジ4K		
BS-19	1394.72	ch.242	J SPORTS 1	HD (2K)	有料
		ch.243	J SPORTS 2		
		ch.244	J SPORTS 3		
		ch.245	J SPORTS 4		
BS-21	1433.08	ch.252	WOWOWプラス	HD (2K)	有料
		ch.255	BS日本映画専門チャンネル		
		ch.234	グリーンチャンネル		
BS-23	1471.44	ch.256	ディズニーマーチャンネル	HD (2K)	有料
		ch.260	J:COM BS ※3		無料
		ch.265	BSよしもと		

BSチャンネル表											
レベル	測定点	CSコンバーター入力 (BS入力)									
ch	BS1	BS3	BS5	BS7	BS9	BS11	BS15	BS17	BS19	BS21	BS23
ch	BS朝日	アニマック	WOWOWシ	日テレ4	BSイレブ	4KQVC	日テレ	NHK4	jsports	WOWOWブ	BSよしもと
レベル	79	77	78	—	79	—	78	—	76	76	75
BER	0	0	0	—	0	—	0	—	0	0	0
C/N	25	25	25	—	25	—	25	—	25	25	25
レベル 測定点 CSコンバーター出力											
ch	BS1	BS3	BS5	BS7	BS9	BS11	BS15	BS17	BS19	BS21	BS23
ch	BS朝日	アニマック	WOWOWシ	日テレ4	BSイレブ	4KQVC	日テレ	NHK4	jsports	WOWOWブ	BSよしもと
レベル	105	104	105	—	105	—	104	—	90	—	—
BER	0	0	0	—	0	—	0	—	—	—	—
C/N	25	25	25	—	25	—	25	—	5	—	—

上の表の様になりBS1～BS15までは正常に出力が出ますがBS19～BS23は正常な出力が出ません。どうしてBSよしもとが見えないか。

図2ブロックコンバーター出力の周波数重なりイメージ

	簡易版：どうしてBSよしもとが映らない	
	1350Mhz	1895Mhz
2005年までの主流	BS	CS (スカパー)
CSブロックコンバーターを使用		
2005年以降の主流	1350Mhz	2150Mhz
CS110度がテレビ内蔵	BS	CS (CS110度)
	1500Mhz	2150Mhz
2012年BS拡張	BS	CS (CS110度)
		新しく始まった
		ぶつかって出なくなる
	1350Mhz	1895Mhz
2005年までの主流	BS	CS (スカパー)
CSブロックコンバーターを使用していると		
以前のCSブロックコンバーターを使っているとBS拡張chが見えなくなりCS110度にも影響を及ぼす。		

第2章 CSブロックコンバーター とは何か

CSブロックコンバーターとは、2005年頃まで広く使われていた装置で、BSとCSの信号を家庭のテレビで受信できるように周波数を変換して分配する役割を担っていました。特に「スカパー！」と呼ばれていたCS放送を受信する際に、BSと混在しないように工夫された仕組みです。

2005年以前の受信方式

当時は、BS信号を約1350MHz付近まで、CS信号（スカパー！）を約1895MHz付近まで変換し、それぞれが重ならないように分けて出力していました。この方式では問題なくBS・CSの両方を受信できました。

2005年以降の変化

ところが2005年以降、CS110度（現在のCS放送）が新しく始まりました。これらは2150MHz付近まで利用するため、従来のCSブロックコンバーター方式と一部の周波数が重なってしまいました。つまり、古いコンバーターを使い続けると、CS110度の一部チャンネルや新しく拡張されたBS放送と干渉が起きるようになったのです。

2012年のBS拡張

さらに2012年にはBSのチャンネルが拡張され、1500MHz付近まで使うようになりました。これにより、従来のCSブロックコンバーター方式ではBSの新しいチャンネル（例：BSよしもと）と周波数がぶつかり、映らなくなるトラブルが発生します。

まとめ 古いCSブロックコンバーターをそのまま使用している場合、BS拡張チャンネルが受信できない

CS110度の一部にも影響が出る

という問題が避けられません。BSやCSが映らない原因の一つが、この「旧式のCSブロックコンバーター」にあるのです。

【周波数帯のイメージ】

950MHz

2150MHz

	BS帯		CSブロック		BS拡張帯		110度CS
	(従来)		コンバータ		(新規追加)		(主流)
	出力信号			CSブロックコンバーターが占有			

そのため、BS拡張チャンネル・110度CSチャンネルが流せない

い

